

令和4年度第4回「和水町地域公共交通会議」

期 日：令和5年3月23日（木）

時 間：10:00～11:30

場 所：和水町中央公民館

出席者：別紙名簿のとおり

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 委嘱状交付

4. 議事

(1) 報告1号 あいのりくんの無料運行について

～事務局より報告～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(和水町区長会春富校区代表区長：小山委員)

- ・あいのりくんの無料運行は、利用者からは助かっているとの声を聞いており、利用者数も増加したとの報告を受けた。
- ・しかし、町民の公共交通に対する関心は低く、無料運行が終了した場合、利用者は減少することが懸念される。
- ・今後の利用促進や広報・周知徹底のための具体策等、現時点で検討されていることをお聞きしたい。

(事務局)

- ・広報紙での周知は引き続き実施していきたい。
- ・また、今月開催された民生委員・児童委員協議会の定例会に出席し、あいのりくんについて説明を行った。
- ・今後も老人会等の団体の集まりに出向いて、出前講座等の周知を図っていきたいと考えている。
- ・さらに、あいのりくんを含めた公共交通に関するチラシを作成し、周知を図っていきたい。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・あいのりくんは、非常に便利である一方、イベント等で利用者が集中した際は、なかなか利用できない状況にあると聞いている。
- ・先日、老人会のイベントで100人程度が集まる機会があったが、他の利用者の予約が多く、あいのりくんが予約できず、高齢者が高齢者を送迎している様子が見られた。
- ・高齢者による送迎などでは、高齢者の事故が一番心配であり、仮に事故が発生した場合、今後集まりが開催できなくなる。
- ・交通事故の事例としては、山鹿市で雨天時に保護者が子供を送迎中、歩いている友人を同乗させた際、交通事故を起こして友人が亡くなったことがある。
- ・タクシー車両の台数を増やことも含め、イベント時においても利用できる環境を整えていただきたい。

(事務局)

- ・現在、三加和地区で2台運行しているが、運行車両の関係上、乗車人数には限界がある。
- ・また4月以降は、総会等の人が集まる機会も増加すると思われる。
- ・あいのりくんだけではカバーできない部分もあると考えており、町のマイクロバスの活用等も含めイベントの主催者と相談しながら、今後の課題として検討していきたい。

(熊本運輸支局)

- ・前回会議時の委員からの意見の進捗を確認したい。
- ・あいのりくんからバスへ乗り継ぐ際、バス通過時間が不明であるため時刻表等を提示ができないかとの意見があり、事務局からバス事業者と相談し検討したいとの回答であったがその後の進捗はどうなっているか。

(事務局)

- ・現状、バス事業者と協議できていないため、今後進めていきたいと考えている。

(熊本運輸支局)

- ・あいのりくんだけでなく、既存の路線バスの利用促進にも繋がるため、前向きに検討していただきたい。

(2) 報告第2号 和水町地域公共交通計画策定調査業務について

(事務局)

- ・地域公共交通計画の策定にあたり、公募型プロポーザル方式で業務提案を公募し、請負業者を決定した。
- ・地域公共交通の課題やニーズ把握のための調査を12月に実施しており、本年度の委託業務により見えてきた部分を受託業者より、報告いただく。

～受託者より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・説明内容について、意見や質問等ないか。

(熊本県交通政策課)

- ・資料29ページ以降に今後の課題や将来像が記載されているが、その内容に関しては町の方針となるため事務局より説明いただいた方が良かった。
- ・資料3ページのあいのりくんの財政負担額の中に、町地域公共交通会議への負担金が含まれているが、あいのりくんの運用に町地域公共交通会議が関与しているとの認識か。

(事務局)

- ・町地域公共交通会議への負担金はあいのりくんの財政負担額とは別であるため、削除した金額に修正する。

(熊本県交通政策課)

- ・あいのりくんの相乗り率が低いとあるが、委員からはあいのりくんに乗れない状況もあるとの意見もでた。
- ・予約時の配車の方法や運用について教えていただきたい。

(事務局)

- ・配車については、利用者の予約時間や行先等を踏まえ、オペレーターが相乗りして利用できるように配車している。

- ・相乗りできる場合は、全て相乗りで運行している状況である。

(熊本県交通政策課)

- ・それでも相乗り率が低いということは、同じ方面への利用が少ない、もしくは利用者数自体が少ないとの認識でよいのか。

(事務局)

- ・利用件数が少ないことになる。できるだけ相乗りとなるよう運用している。

(熊本県交通政策課)

- ・利用者を増やす必要があると思われる。
- ・資料 14 ページで、学生の送迎に関してアンケートを実施しているが、学生とはどの世代を指すのか。
- ・対象が小学生の場合、スクールバスを運行しているが運行ルートに問題があり送迎していることとなるのか。

(受託者)

- ・基本的には高校生の送迎について回答いただいている。

(熊本県交通政策課)

- ・資料 33 ページで課題が整理されているが、それに対する解決策やスケジュールは来年度示されとの認識で良いか。

(事務局)

- ・来年度に具体的な方策を示していくこととなる。

(熊本県交通政策課)

- ・計画の策定はいつ頃を想定しているのか。

(事務局)

- ・令和 6 年 3 月に策定し、令和 6 年 4 月から運用予定である。

(熊本県交通政策課)

- ・来年度の要望となるが、町民ニーズとしては山鹿市や玉名市の町外等、行きたいところに自由に行けるタクシーのような移動手段へのニーズが高いとなっているが、一方で幹線を維持すべきとの課題もあり、住民ニーズとギャップがあり、その辺をどのように説明していくのか、バスへの乗り継ぎがうまくでき、町外への移動もスムーズになる等の周知が必要となるように思われる。
- ・来年度に計画策定とのことであるが、それまでのあいのりくんの運用改善として、乗り継ぎに対するモデルケースの様なものを住民の方に直接伝えることができるような取り組みを行ってもらえばよい。
- ・住民ニーズとの乖離があるため、そこを埋めていく必要があると感じた。

(事務局)

- ・方向性に関して町が示すべきところであり、今後も受託者と協議を進める中で、検討していきたい。

(和水町区長会東校区代表区長：庄山委員)

- ・資料 29 ページに、町民ニーズとミスマッチが生じているとの記載があるが、具体的にミスマッチの内容を教えてください。

(受託者)

- ・町民の行きたい場所は、玉名市や山鹿市等の町外が多く、現状としては、あいのりくんと路線バ

スを乗り継いで利用する必要となる。

- ・乗り継ぎの抵抗が大きく、その抵抗を少しでも緩和することで利用してもらえるような工夫が必要と考えている。

(和水町区長会東校区代表区長：庄山委員)

- ・知人の話であるが、南関町に住む高校生が荒尾市の高校に通学するにあたり、複数の乗合タクシーを乗り継ぐ必要があり、直接高校へ通学できない状況と聞いており、荒尾市の乗合タクシーを利用している状況である。
- ・今後、他の市町に跨っての相乗りは想定されているのか。

(事務局)

- ・和水町においては、玉名管内で玉名定住自立圏があり、山鹿市とも1市1町で定住自立圏があり、その中で、乗合タクシー等を乗り継いで乗り入れることを目標値として設定している。今後市町間で協議していきながら、町民や市民の利便性向上を図っていきたい。

(和水町区長会東校区代表区長：庄山委員)

- ・自治体間の連携は難しさもあるかと思われるが、実現していただけるとありがたい。
- ・資料 32 ページに将来像が記載されており、町外への幹線はあるが、町内の幹線はどの様に考えているのか。

(受託者)

- ・幹線は、路線バスをイメージしている。
- ・以前の計画では、三加和温泉とロマン館を結ぶ町内の幹線が記載されていたが、菊水地区と三加和地区の境界を敢えて作らず、町内で自由に動けた方がよいと考えたところである。

(和水町区長会東校区代表区長：庄山委員)

- ・支線でカバーできる話はもっともであるが、個人的にはまずは町内を重視すべきとの考えがあり質問させていただいた。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・あいのりくんを申し込んだ方に対して、利用方法を詳しく説明しているか。
- ・以前聞いた話では、骨折した高齢者の付き添いとして植木に住んでいる娘さんとあいのりくんに同乗することができるか問い合わせたところ、同乗できないとの返答があったと聞いた。
- ・そのため、タクシーを利用して移動されたと聞いている。
- ・あいのりくん登録者以外にも同行者も乗れる特例があつてよいのではないか。
- ・そのような詳しい説明については、申込時にきちんと行ってもらいたい。
- ・あいのりくんに老人会で利用しようとした場合、1 名の方が登録しており、同じ方面に利用しようと思ったが、その他の方は登録していないため利用できないと思われるが、そのような点についてはきちんと登録時に説明すべきである。

(事務局)

- ・申込まれた際に周知徹底を図っていきたいと思う。
- ・町外の方などの介護に関しては、特例で許可しているケースもある。
- ・付き添いができなかった方の話は、後程詳しい話を教えていただきたい。

(和水町民生委員児童委員協議会：豊後委員)

- ・アンケートの回収率が 47%と高いと説明があつたが、半分も満たしておらず少ないと感じる。
- ・調査結果が、計画策定の土台となるため 80%ぐらいの回収率が必要だと感じる。

- ・また、アンケート等に関する業務委託費はどの程度か。
- ・アンケートの内容は和水町の住民に沿った内容となっているのか、アンケート実施前に内部的に検討したのか。

(受託者)

- ・九州各地の自治体で調査した実績があるが、他の都市での回収率は概ね 30%程度、高くても 40%に満たない状況である。
- ・訪問調査であれば回収率がもう少し高くなるが、郵送調査において 50%は十分な回収率であると考えている。
- ・ただし、今後の計画策定にあたりアンケートのみでなく、必要に応じて住民の声を聞いていくとともに、最後はパブリックコメントも実施するなど、アンケート以外で住民の声を聞く場を設けながら検討していきたい。

(事務局)

- ・業務委託費は 6,083,000 円となる。

(和水町民生委員児童委員協議会：豊後委員)

- ・他の都市でも回収率が低いのであれば、回収率を高める工夫を行うべきではないか。
- ・業務委託費は、令和 5 年度まで含めた委託費か、それとも今年度の委託費か。

(事務局)

- ・今年度のみの委託費であり、来年度に関しては確定してないが 3,000,000～4,000,000 円と見積もっている。
- ・来年度で計画策定の予定のため、本年度と来年度の合計で 9,000,000 円程度である。

(和水町民生委員児童委員協議会：豊後委員)

- ・回収率を高める工夫が必要であり、次回アンケート実施時には住民に沿った内容でアンケートを実施していただきたい。

(事務局)

- ・アンケートの内容については精査してやっていきたい。

(熊本大学院教授：柿本副会長)

- ・ニーズとサービスのギャップの話があつたが、アンケートでは、住民の要望を自由に記載する傾向があり、要望通りに取り組んだとしても実際には利用してもらえないことが多い。
- ・要望のみでなく、実際の住民の動きと、現在の交通体系のギャップを整理してもらいたい。
- ・乗り継ぎが不便で使っていないとの意見もあつたが、本当に困っていないとも思われる。
- ・困っていれば、乗り継いででも利用すると考えられ、実際に困っていないため直通（乗り継ぎ不要）にしたところでニーズは無いと考えられるため、そのあたりを見極めながら検討してもらいたい。
- ・公共交通に関しては予算が限られているため、なんでもかんでも公共が実施すべきではなく、最低限提供すべきサービスを検討するとともに、乗り継ぎの実態に関する分析は、空間と時間の兼ね合いがあるため、その点も明らかにしてほしい。
- ・行先や時間のばらつきに対して、目的地側の兼ね合いも踏まえ、目的地側のコントロールが可能であるのであれば、乗合も可能となるのではないか。
- ・利用者を増やしていくと、ますますコストを要することとなるため、その辺のバランスを考慮し、どこまでを公共が支援し、どこからがタクシーがカバーすべきなのか、カバー領域を明確にして

検討していく必要がある。

5. その他

- (1) 熊本県交通政策課からのお知らせ
- (2) 委員の任期（～R6. 3. 31）

6. 閉会

別紙：出席者名簿

令和4年度 和水町地域公共交通会議 委員名簿

No.	組織・団体名	役職	氏 名	
1	和水町	総務課長	石原 康司	【会長】
2	産交バス株式会社	玉名営業所長	宮島 雅彦	
3	有限会社高瀬合同タクシー	執行部長	高松 清二	
4	有限会社三加和タクシー	代表取締役	西本 朗	
5	一般社団法人熊本県バス協会	専務理事	富田 廣志	
6	一般社団法人熊本県タクシー協会	事務局長	齊藤 ゆか	
7	和水町区長会	中央校区代表区長	小出 正泰	
8	和水町区長会	南校区代表区長	南 幸利	
9	和水町区長会	東校区代表区長	庄山 隆雄	
10	和水町区長会	西校区代表区長	荒木 清也	
11	和水町区長会	緑校区代表区長	福山 猛	(欠席)
12	和水町区長会	神尾校区代表区長	池田 崇	
13	和水町区長会	春富校区代表区長	小山 暁	
14	和水町老人クラブ連合会	会長	平居 俊博	
15	和水町民生委員・児童委員協議会	会長	豊後 力	
16	和水町商工会	副会長	木部 礼一	
17	和水町地域婦人会	会長	坂本 由美子	
18	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整担当)	白石 勇人	(欠席)
19	九州運輸局熊本運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	田村 正宜	
20	全九州産業交通労働組合	副執行委員長	貢 博之	
21	熊本県自動車交通労働組合	執行委員長	野田 大輔	(欠席)
22	熊本県 県北広域本部 玉名地域振興局 土木部	維持管理調整課長	山道 広人	(欠席)
23	和水町	建設課長	中嶋 啓晴	
24	熊本県警察 玉名警察署	交通課長	星子 博秋	
25	国立大学法人 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	センター長・教授・博士	柿本 竜治	
26	熊本県企画振興部 交通政策・情報局 交通政策課	課長補佐	高松 江三子	
27	和水町社会福祉協議会	事務局長	坂本 一恵	
28	事務局 (和水町まちづくり推進課)	事務局長(課長)	坂口 圭介	
29		係長	一 はるみ	
30		主事	戸上 健太	
31		主事	源 成弥	